

扱

あつかう

6画
扱

はねる

なりたち つかまえる意味の及と手との会意形声字。手で物をつかまえるという意味の字で、物を「取りあつかう」とを表した字である。「あつかう」こと。



いみじゆく
▼あつかう。世話をする。もてなす。
取り扱い：①処理。②あしらひ。待遇。【用例】取り扱いが悪い。
客扱い：客をもてなすこと。客あしらい。
宅扱い：鉄道小荷物を、依頼者の家からあて先まで配達する扱い。

級

キユウ

9画
級

はねる

なりたち 扱う意味の及と糸との会意形声字。糸を取り扱うという意味の字で、糸を扱いやすいように「品分け」することを表した字。種類の区分け「また、品質の区分」を表すのに使う。



いみじゆく
▼順序。
等級：①上下・優劣の順序をあらわす区分。②星の明るさをあらわす区分。
階級：①位。特に軍隊における位。②社会的な地位や生活程度がほぼ同等である集団。

高級：等級や程度が高いこと。
【例】高級品
低級：下級
上級：等級や段階が高いこと。
進んでいること。【例】上級生
【例】初級・下級
▼学校での組。クラス。学年。進級：学年が進むこと。
級長：クラスを取りまとめる役の生徒。
▼階段。
▼戦いで討ちとつた首。
首級：討ちとつた敵の首。
【例】上級・原級・昇級・進級・中級・同級生・特級

雪

セツ
ゆき

2年

11画
雪

はねる

なりたち 手の形を表したヨと雨との会意字。雨では手の上にのらないが、「ゆき」になると手の上にのる。手の上に雨をのせて「ゆき」であることを表した字。



いみじゆく

▼ゆき。
降雪：雪が降ること。また、降る雪。
豪雪：大雪。
雪月花：雪と月と花。四季おりおりの美しい眺め。
雪雪：苦心して学問に励むこと。（昔、中国の貧しい書生が、蛍を集めた光や窓の雪の反射で本を読んで勉強した故事から出た言葉。）
▼雪のよう。
雪白：雪のように白いこと。
▼すすぐ。洗い清める。
▼すすぐ。前に負けた恥をすすぐこと。前に負けた相手に勝つこと。【用例】雪辱を期す。
【例】雪辱を期す。
よみかた 雪溪・雪女・雪国・雪空・雪解け・雪見・大雪・粉雪・新雪・初雪・風雪
さんこう 特別なよみかた↓
雪崩・吹雪

急

キユウ
いそぐ

3年

9画
急

はねる

なりたち ヨは又と同じ手の形を表しているの、ヨは及と同じ意味の字である。急は及と心との会意形声字で、追いつこうとしている時の心を表した字で、「いそぐ」という意味の字である。



いみじゆく

▼いそぐ。
急用：いそぎの用事。
至急：非常に急ぐこと。【用例】至急仕事を済ませて下さい。
性急：せっかち。
▼変化が激しい。にわか。
急病：急に起こった病気。
急激：突然で激しいこと。
急転：急に変わること。【用例】情勢が急転する。
▼さしせまった状態。
緊急：重大で、すぐ処理しなければならぬこと。【例】緊急事態
危急：危険が身に迫っていること。【用例】危急存亡の秋也。
（生きるか死ぬかのせとぎわ。）
▼けわしい。【例】急坂
▼大事な。
急所：大事な場所。また、体の中で命にかかわる大事な所。

雪急

雪急

扱級